

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270201296		
法人名	社会福祉法人緑風会		
事業所名	グループホーム太陽の里		
所在地 (電話番号)	〒036-8112 青森県弘前市堀越字柳田3番地12 (電話) 0172-29-3777		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 9月 5日	評価確定日	平成 20年 10月 23日

【情報提供票より】(平成20年6月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9	常勤 9人, 非常勤	人, 常勤換算 7.15人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,600 円	その他の経費(月額)	6,000 ~ 冬期7,500 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(6月30日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	82.3 歳	最低	68 歳
		最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤取上内科・小児科医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

建物は田園風景が見渡せる住宅地に立地されていて、玄関を入ると明るく、清潔さを感じる事が出来る。利用者、職員共同の手作りの作品がいたる所に飾られ、各居室は「里に咲く花」の名前が掲げられ職員手描きの花の絵ノレンがセットされているのがとても印象的である。敷地内には介護センターが併設され、デイサービス利用者、職員とも自然な感じで交流がもたれていて、デイサービスでの温泉入浴を楽しむ事も可能である。「利用者、ご家族、地域との関係を大切に」との理念に添った介護がなされ利用者は穏やかな毎日を過ごされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題の災害対策については毎月避難訓練を計画し開催している。毎朝礼時に消火器の使い方、拡声器を使っての訓練は指名された職員が緊張感を持って実施し、運営推進会議を利用し町内会消防団員の参加で避難訓練が行われ、改善に向けての取り組みされている。今後も継続される事を期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が管理者と共に分担、協力し自己評価を行う事で意義が理解できている。又前回の改善点には、全職員で質の向上に向けて取り組みされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者、ご家族、職員、地区消防団員等の参加のもとで定期的開催されている。様々な問題点、外部評価での改善点等を報告し、又スライドで認知症の勉強会を開催しサービスの質の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時に状況報告、金銭管理については毎月明細書を渡し、面会のない方に対しては「ほりこし便り」にて報告がなされ、ご家族から意見がもらえる関係づくりが出来ている。又運営推進会議は全家族に参加を呼びかけし意見を吸い上げる場を持っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地区で行われる敬老会、神社の大祭に参加したり、併設されているデイサービス利用者から畑作りを教わったりしている。又運営推進会議を利用し春の苗植え、消防団員により消火訓練、スライドを見て鍋を囲む等でも地域の方との交流が図られている。併設されている居宅事業者と連携し介護教室も開催している。今後も定期的開催していく事を期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員でBS法(ブレインストーミング法)をもとに利用者、ご家族、地域との信頼関係を大事にする理念がつけられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	共有空間に法人の理念とグループホーム独自の理念が掲示されている。名札の裏にグループホームの理念が記載され、常に確認できる。又法人の理念を毎朝職員で唱和されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地区の敬老会、神社の大祭に参加したり、隣接されている居宅事業所と協力し町内会の総会を利用して介護教室を開催し地域貢献されている。又近所の方、隣接されているサービスの利用者の方から畑作りを教わったりし地域の方との交流も図られている。今後の課題として介護教室を定期的で開催していきたいと考えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者、職員が分担協力し、相談しながら自己評価を行っている事で評価の意義は理解できている。改善事項に向けての取り組みも行われている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催され利用者、ご家族、職員、地区消防団員等が参加され地域との連携を深めている。開催時にはいろいろな問題点、外部評価での改善点等も報告しサービス向上に努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市の担当者へ訪問したり、又運営の実情を伝えたり、いつでも相談できる状況にある。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員は研修発表したり勉強会を実施している。必要があればいつでも対応できる体制にある。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止読本を個人に配布し全職員が学んでいる。又職員は日頃から言葉使いに気を配り防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者やご家族には事前に訪問し、不安や疑問点を十分に時間をとり説明して同意を得て契約、解約を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時日々の状況報告し、金銭については毎月明細書を渡している。面会のない時はほりこし便りにて近況報告し、出納帳の写しを送付している。緊急時は電話にて連絡できる体制にある。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議は全家族に案内を出し、参加されないご家族からは面会時に意見を聞いている。又玄関に苦情、意見箱を設置しご家族からの意見の吸い上げを図っている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は少ないが利用者には異動のお知らせをしている。寂しさを訴える時もあるが寄り添い、会話を持って利用者へのダメージを抑えるように努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で外部講師を呼ぶ研修と園内研修発表を交互に開催している。法人外の研修にも参加出来る機会を持ち、参加できない職員には閲覧出来るようにしている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加盟し研修や現場実習を受け入れしたり他事業所とのコミュニケーションを図っている。		グループホーム協会に加盟はされているが総会等、交流会に参加し他事業所と交流を図る事を希望したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族、介護支援専門員、介護センター、病院等より情報収集後ご家族と問題点について話し合いスムーズに馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者を人生の先輩という考え方を共有しており、野菜作りを学んだり、食事の支度など一緒に協力しながら喜怒哀楽を共にしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思表示出来ない方からは、日常生活の中から希望をくみ取るよう努力している。又センター方式の取り入れも試みている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族からの要望は事前に把握し、ケース担当者、出勤職員、看護師、介護支援専門員参加のもとでケア会議を開催し介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月に1回の見直しを行っている、ご家族やご本人の要望を取り入れながら状態の変化に応じて随時見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状態の変化に敏感に対応する為朝、夕のミーティングに看護師も参加している。通院介助、外出支援等も行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前のかかりつけ医にするか、ご本人、ご家族と相談し決めている。看護師、医師との連携を図り緊急時の対応に努めている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末について契約の段階で、ご本人、ご家族の意向を確認している。重度化した場合は医師、ご家族、法人とも相談しケース記録に記入し方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導時小声で話す等個人を尊重した声掛けに努めプライバシーに配慮している。又広報誌配布などにもご家族の同意を得て配布するなど対応し、ケース記録、書類は鍵のかかる場所に保管されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりが何をしたいか把握し、利用者のペースにあわせ理念に添って支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度や片づけなどの得意なこと、できる事を手伝ってもらっている。又みんなで力を合わせ育てた野菜を調理し、職員も一緒に円卓を囲み、楽しみながら食事をしている。毎週1回夕食時に選択食を取り入れている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	センターの温泉を楽しんでいる。夏場のシャワー浴、手浴、入浴しないときの足浴も行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居前の個人の生活歴を把握し、食事づくり、花の手入れ等ご本人の得意となることを引き出し楽しみとなるよう支援している。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節に応じた外出の他33観音巡り、希望に応じ美容院、買い物、姉妹宅訪問等を支援している。又2ヶ月に1回の頻度で外食もされてる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束ゼロの手引きを全職員に配布し読本され理解している。又勉強会も開催されている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中玄関は施錠せず、鈴を利用するなど鍵をかけない自由な生活を支援している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>毎月避難訓練を計画している、毎朝礼時に消化器の使い方、拡声器を使つての訓練を実施している。運営推進会議を利用しての避難訓練時には町内の消防団の参加もある。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>法人の栄養士により献立が作成されている。個人に合わせた調理法の工夫し、また水分不足を早期発見する為食事量、水分量の記録が管理されている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>毎年利用者、職員はインフルエンザの予防接種をし予防健康管理に努めている。又各感染症のマニュアルも整備されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は静かに時が流れている感じが有りゆっくりくつろげる空間である。円卓テーブルの利用で会話を楽しみながら食事ができ廊下には職員、利用者の手作りの作品が飾られている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には野に咲く花の名が付けられ、職員手書きの花ノレンがセットされている。利用者の好みにより畳を使用されたり、ご本人の使い慣れたものを使用されたりと好みを取り入れ心地よく生活出来るように工夫されている。</p>		

 は、重点項目。